

ISO-2022-JP-2004 は、JIS X 0213 の符号化方式のひとつです。JIS X 0213:2004 の附属書 2 で定義されています。電子メールでよく用いられている ISO-2022-JP の方式を、JIS X 0213 に対応させたものです。

## 符号の構造

7 ビットのみを用いる、1 バイト文字集合と 2 バイト文字集合を切り替えて使用する符号化方式です。符号化文字集合の切り替えにはエスケープシーケンスを用います。エスケープシーケンスは下記のとおりです。

- ASCII: 1b 28 42
- JIS X 0213 漢字集合 1 面: 1b 24 28 51
- JIS X 0213 漢字集合 2 面: 1b 24 28 50

ただし、互換性のため、JIS X 0208、および JIS X 0213:2000 の 漢字集合 1 面のエスケープシーケンスも、一部制限付きで用いることができます。

## 名称について

JIS X 0213 の 2000 年版では、この符号化方式は ISO-2022-JP-3 という名前でした。これは 漢字集合 1 面が JIS X 0213:2000 のものであるため、JIS X 0213:2004 で追加された「表外漢字 UCS 互換」10 文字を含まない点が違います。

## 実装

テキストエディタの GNU Emacs、プログラミング言語の Python、PHP、文字コード変換プログラムの iconv、AnyTran、RACCOON 等はこの符号化方式に対応しています。

## 参考

- JIS X 0213 の代表的な符号化方式
- JIS X 0213 のコード対応表

## 関連項目

- ISO-2022-JP
- エスケープシーケンス
- EUC-JIS-2004 - 本符号化方式と同様の JIS X 0213 の符号化方式の一種
- Shift JIS-2004 - 本符号化方式と同様の JIS X 0213 の符号化方式の一種